

はすまつり開幕

ピンク、白…花はす一面あでやかに



私もパチリ



モデルをパチリ



7月2日(土)、南条花はす公園で、はすまつりがオープンしました。

オープニングセレモニーでは、ティップカットや南条中和太鼓クラブのアトラクションなどが行われ、37日間にわたり開催されるまつりの開幕を祝いました。

花はす公園で今年最初に花が咲いたのは6月19日。例年より遅めとなりましたが、色艶やかなはすの花を見ようと、まつり初日から大勢の観光客が訪れました。行き交う人ほとんどがカメラを手にして、お気に入りのお花を選び、思い思いにシャッターを切っていました。

また、はすまつり名物「象鼻杯」には子どもから大人まで大勢の人が挑戦し、はすの茎から流れるジュースなどを味わうなど、様々な形で花はすにふれ、楽しんでいました。

はすのエキスがうまいッ! 象鼻杯



蓮の葉に穴を開け、注いだ飲み物を茎の先から飲む象鼻杯。飲む姿が象の鼻のように見えるので名付けられました。「はすワインやジュースが、蓮のエキスとマッチして美味しい!」と大人気。

蓮をモチーフにしたぐう紙で作品作り ぐう紙作り体験



蓮をモチーフにした「なんじょうぐう紙」は、町の特産「誠蓮」の繊維部分と越前和紙の伝統技法を習って漉いたもの。液状にした材料を桶の中に入れて枠で深く漉きます。



そして押し花にした、はすの花びらや金粉を散らし、風合いのある素敵なマイうちわが出来ます。ぜひ一度試してみませんか?

花はす公園にて

大きな花が素晴らしい

愛知県：藤田博美さん
花が大好きで、新聞ではすまつりを知り3夫婦で来ました。大きな花蓮が本当に見事で、山間と相まってのどかですごくいい雰囲気のところですね。園内をゆっくりと見て周り花を堪能して帰ります。

写真を撮りに来ました

清水町フォトクラブ
朝4時に家を出て仲間8人と来ました。モデル撮影会もいけれど主役は花蓮。今日は雨上がりで朝もやや水滴もいい具合。いろんな角度から150枚以上撮りました。何度か足を運びたくなる公園ですね。

公園の広さにびっくり

清水町：吉田弥佳さん
ラジオでこの公園を知って親戚の人や母と来ました。想像以上に広くて「うわあすごい」って感じ。蓮の花が好きなのでうちわも作りました。染めもやってみたいいろんな蓮に触れてみたいです。

夏の楽しみのひとつ

大谷：向山祐造さん
孫と一緒に来るようになり4回目。一面に広がる蓮の豪華さに感動しています。ピンク、白とどちらも美しいけど孫は白が大好きとか。ずっと眺めていても飽きないし穏やかな気持ちになれますね。

種類が多くて大規模

名古屋市：山川真弓さん
実家が広島で花屋を経営。農園では蓮も栽培しています。この公園は種類も多く規模が大きいですね。蓮の花は午前中が綺麗と聞いています。蓮の名を覚えながら子供と匂いを嗅いだりして散策しました。

はすまつりは8月7日(日)まで

期間中は、投句会やぐう紙でうちわやコースターを作る体験コーナーなどを行っています。瓜生の館では、花はすの写真や資料などを展示しています。